

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
50 大修館	論 I 707	Genius English Logic and Expression I

編集の趣旨

1. 編集上特に意を用いた点や特色

(1) 2技能3領域を一体的に育成する。

- ・日常のおよび社会的な話題やテーマについて、自分はどう考えるか・どう思うかを話し合う、発表する、書くなどの活動を充実させた。
- ・話したこと、書いたことを生徒同士で見直し、さらによくすることができるよう、活動の手順を工夫した。
- ・日常のおよび社会的な話題について、聞いたこと、読んだことの構成や展開を把握することができるように、確認問題を工夫した。

(2) 多様な表現のインプットを与える。

- ・トピックを高校生に身近なものから社会的・国際的なものまで用意し、それぞれのトピックについて自分の考えや意見を表現しやすいよう、そのトピックを扱った文章や表現のためのヒントを豊富に用意した。
- ・各Unitのトピックに関連した語彙や表現は付録にまとめ、話すことや書くことの言語活動の際に参照しやすいよう、その掲載ページを示した。

(3) コミュニケーションを行う目的や場面、状況を意識させる。

- ・文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、文法事項・文構造を使った文章や練習問題では、その形が使われる目的や場面、状況を理解しやすいよう工夫した。
- ・話すことや書くことの言語活動において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を意識した活動を用意した。

(4) 指導しやすく、学びやすい教科書。

- ・生徒の学習意欲を高めるため、生徒に身近な話題を多く取り上げ、そこから社会的・国際的な話題へと視点を広げられるよう構成を工夫した。
- ・Unit内のそれぞれのパートが有機的なつながりを持つよう工夫した。
- ・活動のステップを細かく分け、生徒が無理なく取り組めるよう工夫した。
- ・二次元コード（以下、QRコード）から音声やフラッシュカードなどを利用できるようにすることで、主体的・自律的な学習が可能になるよう工夫した。

■各Unitの構成■

(1) 1ページ目

- ・ After this unit, you should be able to: : Unitの目標を確認する。
- ・ Describe the Picture : Unitのトピックに関連した写真を英語で描写する活動。描写する際のヒントとなるよう、質問を2つ用意した。
- ・ Model 1 : Unitのトピックに即した英文。そのUnitで学習する文法事項を含んだ文の頭には丸数字を配し、2

ページ目のPut It into Focusで取り上げている文法事項と対応させた。

- ・ Check It Out : Model 1の内容を確認する問題。
- ・ Sound Tips : Model 1を音読する際に注意すべきことを簡潔に説明した。
- ・ One-Minute Chat : Unitのトピックについてペアでスモールトークする活動。右には表現のヒントを示した。

(2) 2ページ目

- ・ Put It into Focus : Unitで学習する文法事項のかんたんな解説と基本例文。
- ・ Work It Out : Put It into Focusで取り上げた文法事項を使った練習問題。問題文はそのUnitのトピックに関連した内容にした。

(3) 3ページ目

- ・ Model 2 : Unitのトピックに即した、Model 1とは異なる形式の英文。4ページ目のTry It Outの活動を行う際の参考になるように配慮した。
- ・ Think It Through : Model 2の英文の構成や展開を整理する問題。
- ・ Function : Model 2で使われている機能表現についての解説。どのような場合に使うのに適しているかを簡潔に示した。
- ・ Further Expressions : 4ページ目のTry It Outの活動を行う際に使える表現。表現を置き換えることのできる箇所を、色を薄くして示した。

(4) 4ページ目

- ・ Try It Out : Unitのトピックについて、ここまでインプットした表現を参考に、スピーキングやライティングでアウトプットする活動。手順を細かく分け、また、時間や分量を明示し、活動しやすいよう工夫した。ページの右上には活動の際に使える表現が掲載されているページを示した。
- ・ Were you able to : Unitの学習に入る際にAfter this unit, you should be able to:で確認した目標をどれだけ達成できたかを3段階で自己評価する。

- ・ Unit内の見開きに1つ配したQRコードからは音声やフラッシュカードを利用することができる。

■Unit以外の教材・資料等■

(1) PROJECT

ここまで身に付けた表現を使うグループ活動。5 Unitごとに、計4つ配した。Unitで表現したことをさらにふくらませられるような活動になるよう工夫した。全体を6つのステップに分け、各ステップ横には活動に取り組みやすいようヒントを示した。また、Unit同様、活動の振り返りや自己評価ができるような構成にした。

(2) Classroom English

授業中によく使う表現を、「先生から生徒」「生徒から先生」「ペア／グループで」の別にまとめた。QRコードから利用できる音声も用意した。

(3) Unit Goals

各Unitの目標の一覧。教科書を終了した後に生徒が自分の成長の度合いを一目で把握できるよう工夫した。

(4) 英文法の基礎知識

中学で学習した英文法の基礎をおさらいする巻頭コラム。

(5) 発音記号一覧

代表的な発音記号と語彙例の一覧表。QRコードから利用できる音声も用意した。

(6) 英語の発想

英語で表現するための考え方をわかりやすく解説したコラム。5 Unitごとに、計4本用意した。

(7) For Better Communication

より良いコミュニケーションを行うためのヒントを簡潔に解説したコラム。5 Unitごとに、計4本用意した。

(8) Sentences from ‘Put It into Focus’

Unit内のPut It into Focusで取り上げた基本例文をまとめた。

(9) Useful Words, Phrases, and Expressions

言語活動で使える語彙・表現をトピック別・機能別にまとめた。関連するUnitやPROJECTの番号を示した。

(10) Useful Expressions for Presentations, Discussions, and Debates

プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート活動の際に使える表現をまとめた。関連するUnitやPROJECTの番号を示した。QRコードから利用できる音声も用意した。

(11) Useful Expressions to Describe Graphs

プレゼンテーションなどで、グラフを示す際に便利な表現を、グラフの種類（棒・折れ線・円）ごとにまとめた。

(12) How to Write Emails and Letters

メールや手紙、カードの書き方をまとめた。メールと手紙で異なる点、相手によって工夫したほうが良い点を簡潔に示した。

(13) Model 1, 2 日本語訳例

各Unit Model 1, 2の日本語訳例。テキストタイプに適した訳になるよう、文体を工夫した。

(14) Punctuation

ライティング活動の際の参考になるよう、句読点をまとめ、かんたんな説明を付した。